

特別公開企画「エネルギー政策転換期の核エネルギーについて」

核エネルギーの果たす役割について

現状と潮流

“The Role of Nuclear Power in the World – Status and Trends”

日時： 2008年11月3日(祝) 16:30~19:00 (16:00開場)

場所： 立命館大学衣笠キャンパス 末川記念会館第3会議室

キャンパスアクセス URL : http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/koho/annai/profile/access/kinu_1.html

プログラム：

地球規模でのプルトニウム開発・管理システムに関する世界的な論客であるマイケル・シュナイダーさんを国際先端プログラムの客員教授としてお迎えすることになったのを機に、ミニシンポジウムを企画しました。

石油に代わる代替エネルギーをめぐる技術開発や各国の政策は、大きな転換期を迎えています。太陽光発電や風力発電、あるいはバイオエタノール開発など、選択肢が広がる中で、すでに世紀をまたいだ歴史を持つ核エネルギーの活用が人類の歴史の中でどのような軌跡をたどろうとしているのかを考えたいと思います。人類の未来を考えるとときに大きな問題です。

講師：マイケル・シュナイダー氏(核エネルギー問題コンサルタント)

司会：西 成彦(立命館大学大学院先端総合学術研究科長)

ディスカッサント：安斎 育郎(立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長)

山口 歩(立命館大学産業社会学部教授)

牛 革平(立命館大学大学院先端総合学術研究科院生)

*日本語逐次通訳つき

マイケル・シュナイダー氏：1983年にWISE-Paris(世界エネルギー情報サービス-パリ)を設立。2003年まで代表。現在、Mycle Schneider Consulting(エネルギーと原子力政策に関する独立コンサルタント機関)の代表を務める。ベルギー、フランス、ドイツ、イギリス議会で証言、ヨーロッパ議会に対する助言者。1997年、高木仁三郎氏と共に、「もうひとつのノーベル賞」といわれるライト・ライブリフッド賞(スウェーデン)を受賞。

主催：立命館大学グローバルCOEプログラム「生存学」創成拠点

立命館大学生存学研究センター

共催：立命館大学大学院先端総合学術研究科

お問合せ先：立命館大学独立研究科事務室

TEL：075-465-8375 FAX：075-465-8364

URL：<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/gr/gsce/index.htm>
入場無料です。

会場収容能力により入場を制限する場合がございます。

駐車場がありませんので、公共交通機関でお越し下さい。

Graduate School of
Core Ethics
and Frontier Sciences

